

グラハム・ブルックス

Graham Brookes

PG エコノミクス社
ディレクター、農業経済学者

1959 年 9 月 25 日生まれ。

英国エクセター大学、農業経済学学士、ヨーロッパ経済学修士。

PG エコノミクス社 (PG Economics Ltd.) のディレクターおよび農業経済学者。過去 12 年間で様々な農業バイオテクノロジーの影響に関わる研究プロジェクトに携わり、この分野における論文を多く執筆している。主な研究分野は、1996 年以降の遺伝子組み換え作物の世界経済および環境への影響、組み換え作物と非組み換え作物の共存に関する論文、イギリス、ポーランド、スロヴァキア、ハンガリーにおける組み換え作物の及ぼす影響の可能性、スペインにおける害虫抵抗性トウモロコシとルーマニアにおける除草剤耐性大豆の実際の影響、組み換え作物の市場力学と 2012 年までの組み換えイネの開発、ヨーロッパにおける組み換え作物表示、組み換えのゼロ・トレランス政策が与える経済的影響と農業バイオテクノロジーの受け入れの失敗がイギリス経済にもたらした損失などがある。

PG エコノミクス社とは

PG エコノミクス株式会社 (PG Economics Ltd.) は、本拠地を英国ドーセットに置き、農業をはじめ、天然資源を基盤とする産業への特別プロジェクト、アドバイス、コンサルティングサービスを専門的に提供している。専門分野としては、植物バイオテクノロジー、農業生産システム、農業市場、農業政策が挙げられる。取締役であるピーター・バーフットおよびグラハム・ブルックスの 2 人によって、1999 年に設立され、両者はディレクターとして、農業コンサルティングおよびテクノロジービジネスを担当している。